

時評

クリーンな次世代燃料として注目される水素。酸素と結びつくことで発電するため、CO2を排出しないエネルギーとして以前から関心が高く、先進国を中心に水素社会の実現を目指そうといった取り組みが各分野で進められている。

木材由来の水素供給

エネルギーとしては質量当たりの密度でガソリンの3倍とされ、石油や液化天然ガス(LNG)よりも密度が大きいため宇宙ロケットや航空機の燃料でも利用されてきた。近年注目を集める燃料電池車や、家庭用燃料電池でも水素は不可欠となる。

CO2を排出しているという。もちろんトヨタやホンダが水素を製造しているわけではなく、水素は自然界にほとんど存在せず、何らかの方法でエネルギーを加えて水素を製造する必要がある。なかには化石燃料を改質して水素を製造するという本末転倒なこともあり、この辺りは水素製造の課題の一つだ。

度測定して出荷される。同建築物でも、2階梁桁部には芯取り2丁取りされた杉KD平角が現し、ふんだんに使用された。

高齢者施設・商業施設・注文住宅等の土地活用ニーズに対応できる建築バリエーションの拡大等を実施。期末の受注残高は65.1億9200万円(同13.6%増)。売上高は35.3億4400万円(同43.4%増)、営業利益は3億9100万円(前年同期は営業損失13億7400万円)となった。

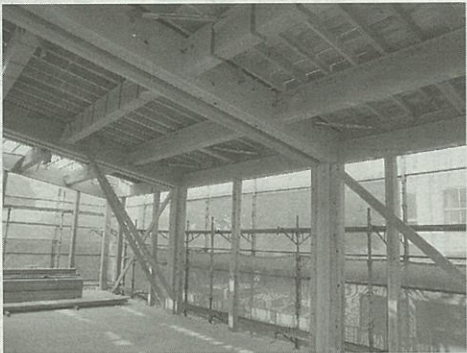
SSDプロジェクトが中規模木造建築物

梁・桁材は芯取り2丁取り

紅中

紅中(大阪市、中村晃輔社長)と国産材品質表示推進協議会(SSDプロジェクト)が木材製品を納材した非住宅木造建築物が、上棟した。同建築物は、熊本県上球磨地域産材を中心に調達。燃え代材には末口60センチ、長さ丸太を調達し、SSDプロジェクトが取り組むJAS機械等級区分構造用製材に基づき芯取りKD平角を採用、2階の現し梁材として多用した。

同建築物の事業者は、4平方メートル、準防火地域社会福祉法人路交館に建築されている。木材使用量は構造材が141立方メートル、SSD球磨杉、桧JASの素材供給は、九州横井林業(熊本県球磨郡、那須主隆社長)が湯前町産球磨杉、桧丸太を納材、製材は地元製材事業所で行い、プレカット加工とJAS規格付け等は球磨プレカット(同、橋本龍一社



球磨産杉KDのほり梁は現して使用した

設計上の特徴は、木造軸組工法と金物接合工法の複合工法とし、構造計算とJAS構造用製材をはじめとする品質保証材を採用すること、明確な建物強度性能を確保した点。また、構造計算と接合金物を効果的に活用することで、既存工法技

術の範囲で建物は芯持ちとなるが、同様にJASに基づき強抑制も実現している。45分耐火要件に対しては燃え代設計を導入した。同プロジェクトでは球磨杉、桧大径木丸太を原材料、賃貸事業の好調が続き、丸太伐き、増収増益を維持した。

主力の賃貸事業は、入居率向上により安定的に黒字化。当期末の入居率は87.70%(前年同期比1.37%増)、期中平均入居率は87.56%(同1.60%増)となった。また、直営建築請負事業は、高い入居率が見込める都市部へのアパート供給、耐震性・遮音性等に優れた商品の投入、

四国森林管理局(高知市)森林整備部は27日、高知県高岡郡四万十町の那賀川内山国有林で、地上型3Dレーザー調査の現地実証と検討会を開く。現地での計測デモは大木坑木宇和島支店(愛媛県宇和島市)が行う。

決算

Table with financial data for Reopales 21, including revenue, profit, and share price information.

11月16日/2014年 今週の木材情報 稼働済みバイオマス発電所の今、燃料確保し安定運用が課題

三重エネウッド 安定稼働で1年が経過 岐阜バイオマスパワー 協議会活動で連携強化 日新バイオマス発電 早い時点で高い稼働率

Advertisement for HS-100 high-frequency wood moisture meter, featuring an image of the device and text describing its accuracy and features.